

第5回 長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞授与式及び受賞者研究発表会

長崎大学は、平成28年度に、優れた研究成果を挙げた本学の若手女性研究者を学長より顕彰する「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」を創設しました。これは、優れた研究結果を挙げた長崎大学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進を目的としています。令和2年7月1日から令和2年8月28日に公募を行い、選考委員会において慎重に選考を行い、優秀女性研究者賞および優秀女性奨励賞受賞者を決定しました。

第5回受賞者研究発表会および授与式は、令和3年1月8日、文教キャンパス第一会議室において、執り行いました。出席者21名で、報道機関からの取材もありました（長崎新聞社、KTN）。

[受賞者]

優秀女性研究者賞

総合生産科学域（工学研究科） 准教授 源城かほり

優秀女性奨励賞

原爆後障害医療研究所 助教 松瀬美智子

優秀女性奨励賞

病院 医療教育開発センター 講師 松島加代子

第五回 長崎大学 未来に羽ばたく女性研究者賞

この「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」は、優れた研究成果を挙げた長崎大学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進を目的として創設されました。

対象
本学において研究を行う本学所属の50歳以下（令和2年4月1日時点で50歳未満）の初級以上の女性研究者で、かつ、男女共同参画推進に貢献している、もしくは積極的意欲をもち、応募から令和2年1月31日までの間、本学に所属する者に限る。

表彰
◆優秀女性研究者賞 正賞：賞状 副賞：研究費
◆優秀女性奨励賞 正賞：賞状 副賞：研究費
※ただし、応募から令和2年1月31日までの間、本学に所属する者に限る。

応募受付期間
令和2年7月1日（水）～8月28日（金）正午必着

応募手続の先は7月末日までにダイバーシティ推進センターまでお知らせください。

募集要項などの詳細についてはダイバーシティ推進センターのHPからダウンロードしてください。
<https://www.od.nagasaki-u.ac.jp/award/>

【お問い合わせ先】 国立大学法人長崎大学 ダイバーシティ推進センター
TEL: 095-819-2839 (内線: 3151)
MAIL: omyou_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp

1. 開式挨拶および趣旨説明（吉田ゆり副学長／ダイバーシティ推進センター長）

吉田ゆり副学長から、ご列席いただいた方々への御礼と本研究者賞趣旨並びに概要説明があり、女性研究者支援の現状および、受賞者の研究分野等にも触れられました。また第5回目の本年度は、新たに「教育研究」という枠を創設し、奨励賞を2名選出した旨など話されました。

2. 受賞者研究発表

優秀女性奨励賞

- 原爆後障害医療研究所 松瀬美智子 助教
- 「甲状腺癌の悪性度の違いを規定する分子メカニズムについての研究」
- （概要）甲状腺癌の悪性度は幅広く、この違いを規定する分子メカニズムについての研究が行われているが、甲状腺癌の悪性度・予後と高い相関を示すマーカーについて新たな知見を得た。



優秀女性奨励賞

- 病院 医療教育開発センター 松島加代子 講師
- 「研修医教育におけるメンター制度の変遷と長崎大学病院の現状」
- （概要）研修医に身近な相談役（メンター）をつける「メンター制度」の構築についての取り組みを行い、満足度の分析やマッチングへの貢献について検討を行った。結果として男性の育児参画者の増加、若手医師誘致、自己成長などの成果がみられた。



優秀女性研究者賞

- 総合生産科学域（工学研究科） 源城かほり 准教授
- 「住宅における快適性・健康性を考慮した省エネルギー手法の提案とオフィスにおける室内植物のメンタルヘルスケア効果に関する研究」

- (概要) 住宅の快適性や健康性に考慮し、省エネルギーの観点で県内住宅の冷房時と暖房時の快適な温度を明らかにした。さらに別の研究では、オフィスに緑の植物を置くことで人に安らぎを与える、リラックスさせる等を認めることができた。

3. 授与式

河野学長から受賞者3名に、表彰状、研究費としての副賞の目録、記念の盾が贈られました。

4. 総評 (河野茂学長)

河野学長は、3名の発表者それぞれに向けて、それぞれの研究発表に対しての所感等を述べられました。続いて、本学の大きな悩みは女性教授が少ないということであり、若手のリーダーとの自覚をもって上の職位を目指していただきたい旨を話されました。



5. 閉式の言葉 (福永博俊理事)

福永理事はこの賞が始まった経緯、現在の日本の女性活躍の状況は海外よりもかなり遅れていることをご自身のご経験を元に話されました。また、本学の女性上位職が非常に少ないことにも触れ、受賞者にはぜひ女性研究者の希望の光となっていきたい、と述べられました。



(左から松島加代子講師【優秀女性奨励賞】、永安武理事、源城かほり准教授【優秀女性研究者賞】、横町直明理事、河野茂学長、福永博俊理事、松瀬美智子助教【優秀女性奨励賞】、吉田ゆり副学長)